

前回の編集後記(2020年12月)で、「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は依然として予断を許さない状況が続いており、第3波の到来と言われています」と記載いたしました。その後、2021年1月8日に2回目の緊急事態宣言が発令され、3月21日に全面解除されるまで約2か月半持続しました。解除後も新規感染者数は増加傾向にあり、4月16日現在、6都府県にまん延防止等重点措置が適用されており、20日から10都府県に広がるようです。現在は第4波の到来と言われている、依然として厳しい状況が続いています。第3波との大きな違いとして、変異株の拡大が挙げられると思います。今後、状況はさらに変化していくかもしれません。

2011年にアメリカで制作された「コンテイジョン」という映画をご覧になった方も多いかと思います。Contagionとは「伝染(病)」という意味で、昨年COVID-19が問題になりはじめた頃に私もこの映画を初めて見ました。ある意味でCOVID-19に似た状況を描き出しており、驚いた記憶があります。この映画のなかで最後にワクチンの話が出てきますが、日本でも医療従事者をはじめとしたCOVID-19に対するワクチン接種が開始されました。私も先日、2回目の接種を終えました。1回目は接種翌日に注射部位が少し痛くなった程度でしたが、2回目は接種翌日に37.3℃まで発熱し、午後は倦怠感がありました。2回目の接種の翌日は仕事をセーブする方が良いかもしれません。ただし、翌々日以降はほぼ正常に復しました。ワクチン接種の効果に関してはまだ不明の点もあるかと思いますが、COVID-19への対応策として極めて有効な手段であることは間違いないと思います。出来るだけ早い時期に、より多くの方が接種できることを切に願っております。

ワクチン接種後も感染予防に万全を期する必要があるのは言うまでもありません。前回の編集後記でJA世田谷日黒が開催する玉堤体験農園の話を記載しました。夏野菜の収穫が終わった後は、秋に冬野菜の種まきをし、冬に収穫しました。大根、白菜、キャベツ、カリフラワー、ブロッコリー、ホウレンソウ、小松菜などですが、どれも立派に育ちました。感染に注意しながらも、出来る活動は続けていきたいと思っております。(佐伯秀久)

— 顧 問 —

大原 國章 大塚 藤男

— 編集委員 —

土田 哲也 五十嵐敦之 相馬 良直 林 伸和 佐伯 秀久

「皮膚科の臨床」第63巻 第5号 5月号

2021年5月1日発行(毎月1回1日発行)
定価 3,080 円(本体 2,800 円+税 10%)

年間購読料金
定価 47,630 円(本体 43,300 円+税 10%)
[年間13冊(臨時増刊号、増大号を含む)の誌代]
[年間予約購読者に限り送料無料]

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹
〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14
TEL 03(3811) 7165 [編集室直通]
TEL 03(3811) 7184 [営業部直通]
FAX 03(3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005

広告申込先 福田商店 TEL 06(6941)5600

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(TEL: 03-5244-5088, FAX: 03-5244-5089, E-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。